

普及活動情勢報告（令和5年4月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

中山間農業複合経営拠点と連携組織の経営安定に向けて ～実績・目標報告会～



幹部職員が説明する様子

3月28日、(一社)四万十農産と(株)サンビレッジ四万十の社員向けの実績・目標報告会が開催され、経営コンサルタントや関係機関を含め、14名の参加がありました。

普及所は、定例会で進捗状況確認や、目標収量達成に向けた栽培指導や情報提供を行ってきました。

次年度も組織同士が助け合って目標達成していくために、幹部職員がそれぞれ社員を労うとともに、次年度方針や目標等の取組内容を関係者で共有しました。

品目によっては単価安等で厳しい状況が続きますが、今後も関係機関と連携して課題解決を支援していきます。

生産者の経営安定に向けて ～ミョウガ生産者経営面談～



面談の様子

4月20日、JA職員と共に四万十町のミョウガ生産者10名を対象に、個別の経営支援面談を実施しました。

4月10日までの出荷量のデータを共有し、生産者ごとに栽培状況や経営状況について聞き取りを行いました。

生産者それぞれ抱えている課題が異なり、病虫害防除や肥培管理の改善、作業時間短縮に向けた取組等について意見交換しました。

今後も生産者の経営安定を目的として、JAと協力して個別巡回指導等を行っていきます。

基本に立ち返って ～夏秋ピーマン栽培講習会～



講習会の様子

4月20日、JA高知県四万十夏秋ピーマン生産部会栽培講習会が開催され、部会員31名の出席がありました。

普及所からは、ほ場準備や定植方法、初期の肥培管理など、夏秋ピーマンの基本的な栽培管理のポイントについて説明しました。

また、労働力確保の手段として農福連携に関する情報提供と、今後の活動の参考とするため農福連携にかかる意向調査を実施しました。

普及所は今後も関係機関と連携して、栽培や経営、労働力確保など様々な視点から夏秋ピーマンを振興するため支援を続けます。